

組合社員2人が

技能五輪で敢闘賞

ポラスハウジング協組

ポラスハウジング協同組合（埼玉県草加市、中内晃次郎代表理事）は、同組合社員2人が第60回技能五輪全国大会で敢闘賞を受賞したと発表した。

技能五輪全国大会は中央職業能力開発協会が主催。23歳以下の技

能者が技能レベルを競う。今回は4、7日に全42職種、1014人が競技に参加した。建築大工職種には56人が

参加。同組合で敢闘賞を受賞したのは田中帝志さん、布谷充さん。布谷さんは21年に続く

敢闘賞受賞となった。

ポラスグループからは建築大工職種の競技に埼玉県代表として同組合から3人、千葉県



第60回技能五輪全国大会閉会式

会場

敢闘賞を受賞した田中さん(左)と布谷さん

代表としてポラスハウジング千葉から2人が参加した。田中さんは「うれしさと悔しさが半分半分の結果。建築技能習得

に励み、技能グランプリ出場やより良い仕事につなげたい」とコメント。布谷さんは「自分のなかで納得できなかった。来年の金賞受賞を目指し、技能を磨きたい」と振り返った。